


お茶会だより 3月号

床の間

矢島保育園 H31.3.11 (月)

掛軸 蛸(おひな様) 番合 蛸(宝づくし) 
お花 ~ トサズキ、フクジュソウ お菓子 ~ 焼き菓子(ふわりふわり、いちご)



お茶会開始前に... 保育室で「今日は最後のお茶会です」とお話をすると、「最後かあ〜...」と残念そうな声かきもれてきました。「植田先生に感謝の気持ちで、いかに楽しくお稽古しましょうね。お作法はとてもし上手になつたから いつも盛りで大丈夫!!」とお茶室へ向かいました。



一年間 植田先生のもとで学んできたお茶の作法、心得の集大成として“自分で考え、自分で動く”子ども達を見守りながら進めていきました。| ほんの少しの緊張とそれを上回る大きな自信で、一人一人が堂々と立ち振る舞う姿をみせてくれました。中には免許皆伝!? 大人顔負けで私達も驚かされる程進んで作法を行い、場面を引っ張ってくれる子もおり、この一年間の学びがしっかりと身に付き、行えるようになった成長を嬉しく思いました。



お茶会終了後、植田先生には感謝の気持ちを込めてお花のプレゼントと記念撮影を一緒にしました。いつも優しく、素敵な植田先生をぞう組の子ども達は大好きです。月に一回、一時間程のお稽古でしたが、子ども達にとって非日常の中で本物にふれるという貴重な学びの時間でした。お茶会で学んだ「感謝の心、思いやりの心、我慢する心」は原体験としてこれから子ども達の中で息づいていくことと思います。

【今月の床の間】



《掛け軸》「はまぐり（おひな様）」

《茶花》 「トサミズキ・フクジュソウ」

《香合》 「ハマグリ（宝尽くし）」

最後のお稽古の床の間は、春らんまんのおひな様。茶花のフクジュソウは春を祝うおめでたい花。お稽古前にはつぼみでしたが、お稽古が始まると開き始め、子ども達の門出を喜ぶように黄色い花を見せてくれました。



「ハマグリ」の香合



《茶菓子》お干菓子

“ふわりふわり・いちご”

【お稽古の様子】

お干菓子、初めて食べるかも...



今回のお茶菓子は、植田先生が準備してくれたお干菓子。初めて口にする子どもも多く、じっくりと味わっていました。



自分達で、流れや挨拶をできるようになった子ども達。とても頼もしいお茶席でした。これも植田先生のご指導のおかげです。



お友だちにお茶を点てるのも今回が最後。どの子どもも心を込めて点てていました。



植田先生、1年間有り難うございました。